

農 林 水 産 委 員 会

委員一覧 (21名)

委員長	山下	雄平 (自民)	滝波	宏文 (自民)	田名部	匡代 (立憲)
理 事	堂故	茂 (自民)	藤木	眞也 (自民)	下野	六太 (公明)
理 事	船橋	利実 (自民)	山田	俊男 (自民)	安江	伸夫 (公明)
理 事	宮崎	雅夫 (自民)	山本	啓介 (自民)	串田	誠一 (維新)
理 事	徳永	エリ (立憲)	若林	洋平 (自民)	紙	智子 (共産)
理 事	舟山	康江 (民主)	石垣	のりこ (立憲)	須藤	元気 (無)
	加藤	明良 (自民)	大椿	ゆうこ (立憲)	寺田	静 (無)
						(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第211回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出4件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願4種類65件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

水産加工業施設改良資金融通臨時措置法の一部を改正する法律案は、昨今の水産加工品の原材料の供給事情及び水産加工品の貿易事情の変化に鑑み、現行法の有効期限を5年間延長しようとするものである。委員会では、有効期限を延長する考え方、原材料確保の困難化への対応等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案は、違法伐採に係る木材等の流通を抑制するため、川上・水際の木材関連事業者に合法性の確認等を義務付ける等の措置を講じようとするものである。委員会では、違法木材対策の効果、事業者登録の推進、制度周知の必要性等について質疑が行われ、討論の後、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律案は、漁港施設等を有効活用することにより水産物の消費増進等に寄与する漁港施設等活用事業制度を創設するほか、併せて漁業協同組合等の員外利用制限の特例を設ける等の措置を講じようとするものである。委員会では、法改正による海業推進の効果、漁港施設を追加する意義、漁港協力団体制度の運用等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

遊漁船業の適正化に関する法律の一部を改正する法律案は、遊漁船業者の登録制度の厳格化等により、遊漁船業の安全性の向上を図るほか、地域の水産業との調和に寄与する協議会制度を創設しようとするものである。委員会では、厳格化した登録制度の運用、安全運航確保の取組、協議会の運営等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

〔国政調査等〕

令和5年3月7日、令和5年度の農林水産行政の基本施策に関する件について野村農林水産大臣から所信を聴取し、3月9日、これに対し、食料・農業・農村政策の新たな展開方向の取りまとめに向けた気候変動への対応及び農村政策についての考え方、フードテックの推進に向けた農林水産大臣の意気込み、鳥インフルエンザの大量発生時のリスク回避のため鶏舎の分割管理の方針を定め支援する必要性、子供食堂による政府備蓄米の無償交付に係る申請手続きを簡素化する必要性、生産基盤の強化に向けて欧米のような所得支持の発想で政策体系を組み直す必要性、生産者団体と乳業メーカーとの価格交渉において国が乳価の引上げを働きかける必要性、女性の農業委員を増加させるために活用することができる政府の支援措置、輸出に取り組む製材業者への支援策、ALPS処理水放出に対する漁業者の理解は困難との見方についての受け止め及び風評被害等への政府の対応方針等について質疑を行った。

3月17日、予算委員会から委嘱された令和5年度農林水産省所管予算の審査を行い、食料自給率目標が達成されない原因と達成に向けた実効性ある施策の推進、食料・農業・農村基本法における食料安全保障の概念の確認、令和5年度におけるみどりの食料システム戦略関係予算の執行方針とオーガニックビレッジ宣言市町村の増加に向けた取組、食肉生産を推進している農林水産省の代替肉推進に対する取組姿勢、食育推進基本計画に沿って地場産物や国産食材の使用を増やすための国産の乳製品への切替えに対する支援策、食料安全保障の強化に資する農林水産物等の輸出拡大戦略、日本の気候条件を踏まえた水田農業への評価及び確保すべき水田面積を明示する必要性、営農型太陽光発電に係る農地転用許可手続に関する都道府県の条例策定を支援する必要性、農業上の条件が不利な豪雪地帯や中山間地域の農業に対する支援についての現状認識等について質疑を行った。

4月13日、農林水産省の統計関係職員数の削減が農林水産統計に与える影響、学校給食における地元産有機農産物の利用に対する支援策、一般消費者の利益の保護の観点から農林水産省がゲノム編集技術応用食品の表示の在り方について消費者庁に提起する必要性、鳥インフルエンザの防疫措置として施設等を分割管理する場合の飼養形態等の要件、投資においてアニマルウェルフェアを重視する世界的な潮流を踏まえ我が国においてもアニマルウェルフェア重視の姿勢を示す必要性、国連家族農業の10年の国内行動計画を日本が策定していない理由、水産加工業及び遠洋漁業における人材確保に向けた取組、2050年カーボンニュートラルの実現に向けたブルーカーボン推進の重要性等について質疑を行った。

4月18日、食料安全保障に関して自給率向上や備蓄強化を疑問視する財政制度等審議会の建議に対する農林水産大臣の所見、愛玩動物の医療事故防止のため医療器具のメンテナンス及び獣医師の治療行為に関して農林水産省が踏み込んで指導監督する必要性、水田の有する多面的機能について情報発信を強化し営農支援に対する国民の理解を得る必要性、みどりの食料システム戦略に基づく有機農業の取組拡大におけるJAとの協力関係構築の必要性、平飼い方式と比較してケージ方式が採卵鶏の苦痛や疾病からの自由において優位とする科学的根拠、水産業を産業として発展させるための支援の在り方、青森県大間町産クロマグロに係る漁獲量未報告問題を受けた再発防止策及び資源管理の徹底を図る必要性

等について質疑を行った。

5月16日、食料安全保障に関し国消国産の推進及び水田の重要性を踏まえた政策の方向性を提示する必要性、希少野生動植物種の保護のため認定された営農型太陽光発電所の計画地の変更を認める必要性、規制される大手食品メーカーから規制する消費者庁への職員の受け入れによる食品衛生行政への懸念、管理経費が増大しているミニマム・アクセス米の輸入を見直す必要性、プラスチック被覆肥料の被膜殻のほ場流出抑制対策の有効性を検証する方法、国際水準のアニマルウェルフェアの認証制度を創設する必要性、伝統行事であっても動物虐待は許されないことの確認と上げ馬神事における馬の取扱いが子どもに与える影響、地域農業の担い手としての兼業農家や自給的農家に対する農林水産大臣の認識、花粉症に関する関係閣僚会議の開催理由と花粉発生源対策の現状等について質疑を行った。

6月1日、畜産・酪農に関する件について参考人から意見を聴取した後、参考人に対して鳥インフルエンザの発生件数等が過去最多となった今シーズンの現場の実情及びそれを踏まえた来シーズンに向けた課題、国産農畜産物を持続可能な価格で販売できていない理由及びその負担の在り方、諸外国と日本を比較した場合の生産現場におけるアニマルウェルフェアの取組の違い、ケージフリー方式を採用するだけでは必ずしも採卵鶏のアニマルウェルフェアの向上を意味しないことを消費者に理解してもらうための方策、政府の配合飼料価格高騰対策への評価及び今後の課題、国内で乳用牛の頭数削減を進める一方国家貿易として乳製品を輸入することの妥当性、平成30年施行の畜産経営の安定に関する法律改正法による生乳の需給調整機能への影響、輸入乳製品に代替して国産チーズの消費を拡大するための方策等について質疑を行った。

6月6日、北海道における農業及び酪農に関する実情調査のため、視察を行った。

(2) 委員会経過

○令和5年3月7日(火) (第1回)

- 農林水産に関する調査を行うことを決定した。
- 令和5年度の農林水産行政の基本施策に関する件について野村農林水産大臣から所信を聴いた。

○令和5年3月9日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和5年度の農林水産行政の基本施策に関する件について野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

宮崎雅夫君（自民）、田名部匡代君（立憲）、徳永エリ君（立憲）、下野六太君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

○令和5年3月17日(金) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和五年度一般会計予算（衆議院送付）
令和五年度特別会計予算（衆議院送付）
令和五年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（農林水産省所管）について野村農林水産大臣から説明を聴いた後、同大臣、勝俣農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

加藤明良君（自民）、小沼巧君（立憲）、石垣のりこ君（立憲）、安江伸夫君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和5年3月28日（火）（第4回）

- 水産加工業施設改良資金融通臨時措置法の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年3月30日（木）（第5回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 水産加工業施設改良資金融通臨時措置法の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

船橋利実君（自民）、徳永エリ君（立憲）、下野六太君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

（閣法第5号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無（須藤元気君、寺田静君）

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和5年4月13日（木）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 農林水産統計に関する件、学校給食における有機農産物の使用に関する件、ゲノム編集技術応用食品の表示に関する件、高病原性鳥インフルエンザ対策に関する件、アニマルウェルフェアに関する件、国連家族農業の10年に関する件、水産業の振興施策に関する件、ブルーカーボンの活用に関する件等について野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

若林洋平君（自民）、石垣のりこ君（立憲）、安江伸夫君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

○令和5年4月18日（火）（第7回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 食料安全保障に関する件、獣医療の在り方に関する件、水田農業政策に関する件、有機農業の推進に関する件、採卵鶏の飼養管理に関する件、水産業の振興施策に関する件、クロマグロの漁獲量未報告問題に関する件等について野村農林水産大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山本啓介君（自民）、徳永エリ君（立憲）、下野六太君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）

- 合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第31号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年4月25日（火）（第8回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第31号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

加藤明良君（自民）、田名部匡代君（立憲）、安江伸夫君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

（閣法第31号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無（須藤元気君、寺田静君）

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和5年5月16日（火）（第9回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 食料安全保障に関する件、営農型太陽光発電事業に関する件、食品安全行政に関する件、米政策に関する件、農業分野から排出されるプラスチック対策に関する件、アニマルウェルフェアに関する件、伝統行事における馬の取扱いと動物愛護に関する件、担い手の育成・確保に関する件、花粉発生源対策に関する件等について野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

滝波宏文君（自民）、徳永エリ君（立憲）、大椿ゆうこ君（立憲）、下野六太君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

- 漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律案（閣法第52号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年5月18日（木）（第10回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律案（閣法第52号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

宮崎雅夫君（自民）、石垣のりこ君（立憲）、下野六太君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

（閣法第52号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無（須藤元気君、寺田静君）

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和5年5月23日（火）（第11回）

- 遊漁船業の適正化に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第53号）（衆議院送付）について野村農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和5年5月25日（木）（第12回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 遊漁船業の適正化に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第53号）（衆議院送付）について野

村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

山本啓介君（自民）、田名部匡代君（立憲）、安江伸夫君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

（閣法第53号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無（須藤元気君、寺田静君）

反対会派 なし

○参考人の出席を求めることを決定した。

○令和5年6月1日（木）（第13回）

○畜産・酪農に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

全国農業協同組合連合会常務理事 齊藤良樹君

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部教授 小林信一君

酪農家 金谷雅史君

東京農工大学大学院農学研究院教授 新村毅君

〔質疑者〕

船橋利実君（自民）、石垣のりこ君（立憲）、安江伸夫君（公明）、串田誠一君（維新）、舟山康江君（民主）、紙智子君（共産）、須藤元気君（無）、寺田静君（無）

○令和5年6月21日（水）（第14回）

○理事の補欠選任を行った。

○請願第142号外64件を審査した。

○農林水産に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。